



# 若みどり

〈教育目標〉 人を大切に 時間を大切に 物を大切に

<http://www.mitaka-schools.jp/sanchu-jhs/>

No. 9

令和6年2月19日発行  
三鷹の森学園三鷹市立第三中学校  
校長 並木茂男

## ある雪の日の話

副校長 清水 裕徑

もう十数年前になるでしょうか。東京に記録的な大雪が降った日がありました。その当時、私は西寄り（山寄り？）の地域の学校に勤務していたので、区部よりもさらに積雪があつて、交通機関の乱れもあり、通勤にかなり苦労したのを覚えています。

私がやっとの思いで学校に到着した少し後に、一緒に仕事をしていた ALT（外国人講師、三中でいうところのビクター先生）が出勤してきました。カナダのトロント出身で、まだ日本に来て1年目の先生からは、授業の中で「トロントは雪の多いところ」とよく話してくれていたもので、雪には慣れているのだらうと思い、感想を聞いてみると、初めての東京での大雪には、かなり驚いているようでした。「東京には滅多に大雪が降らないからね。みんな雪には慣れていないんだよ」と話をすると、彼は本当に不思議そうな表情で、私にこう尋ねました。

“Why do people in Japan use umbrellas on snowy days?”

（どうして日本では雪の日に傘をさすの？）

トロントでは、雪が降っても傘をさす人はほとんどいないのに、東京では、学校に来るまでの間に見た人は皆傘をさしていた、それがとても不思議な光景だったようでした。「雪が降ったら迷わず傘をさす」私にとっては、この質問の方が不思議に感じたのですが、何とも興味深い質問だったので、その日に ALT に入ってもらった授業の冒頭で、生徒にこの質問を投げかけてもらうことにしました。

そのクラスの生徒のほとんどは、ALT の質問に対して「雪が降ったら傘をさすでしょ」と、私と同じ答えをしていました。理由を尋ねてみると

「濡れたくないから」

「雨の日に傘をさすのと同じでしょ」

私も同意見だったので、教室の中には「雪の日に傘をささない派」が ALT のみになったのですが、彼は傘をささない理由をこう答えました。

「雨と違って、雪は服に付いても払えば落ちる」

「雪道で傘をさして歩いていたら危ない」

それを聞いた生徒からは「確かに、片手に傘を持って雪道を歩いていたら、滑ったりしたときに危ないよな。フードを被っていれば頭は濡れないし、両手が空くから安全かもな」と、ALT の意見に納得した様子も見られました。

自分が「当然そうだ」と思っていることでも、視点を変えるとまた違ったとらえ方ができることが、意外と多くあります。雪の日に傘をさすのか、ささないのか。どちらが正解というのはありませんが、自分はどちらを選ぶのか、様々な視点に立って考えるのも、面白そうですね。

## 三中 School Life

### ○部活動見学

2月9日（金）の入学説明会の後に、小学校6年生の皆さんを対象にした部活動見学が行われました。全部活動が日頃の活動の様子を披露していました。



## 三中からのお知らせ

### ○上履きの販売方法の変更について

本校の上履きについては、井の頭にある「カフェ風」様にご協力いただき販売していましたが都合により、しばらくの間お店をお休みするとの連絡が入りました。当面の間（令和6年度初めまで）は、以下の通り対応いたします。

- ・購入申込用の振込用紙を、本校事務室に用意しています。購入希望の方に振込用紙をお渡しします。
- ・振込用紙に必要事項（生徒氏名、クラス、出席番号、サイズ、連絡先など）を記入し、郵便局にて振込をお願いします。
- ・振込完了後、学校に上履きが届きますので、お子様にお渡しします。

試し履きを希望する方は、学校にサイズ見本がありますので、お申し出ください。

校支援保護者連絡帳にて配信したメッセージも、あわせてご参照ください。

